岩手県立大学　令和６（2024）年度

卒業年次生アンケート

調査結果報告書（抜粋）

令和７（2025）年３月

目　次

Ⅰ．調査の概要 …… 1
Ⅱ．調査結果の抜粋・要約 …… 2

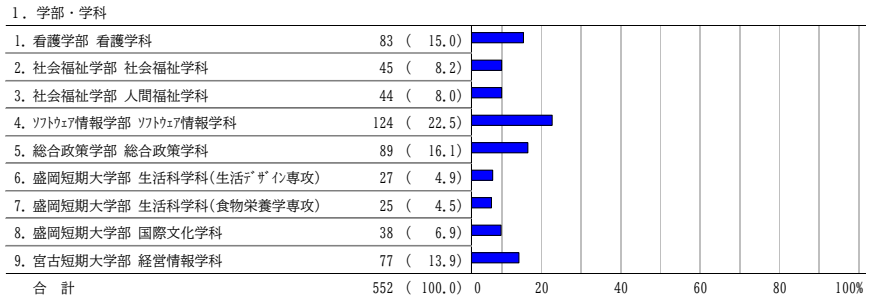
公立大学法人 岩手県立大学 Iwate Prefectural University

Ⅰ．調査の概要

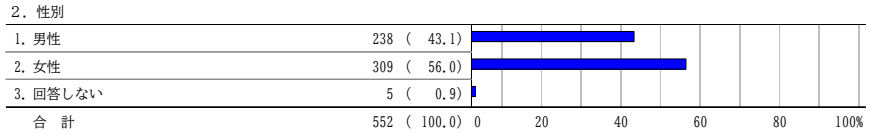
①　実施時期：　令和７年１月～同年２月
②実施方法：　アンケート票配布・回収方式
③対象者：　岩手県立大学、盛岡短期大学部、宮古短期大学部
令和６年度卒業年次生（692名）
④回答者：　552件（回収率：79.8%）
⑤回答者内訳：　A-1.・2.のとおり

◆A　あなたについてお伺いします

1．回答者の学部・学科



2．回答者の性別



Ⅱ．調査結果の抜粋・要約

問１．大学での学業を興味や意欲をもって進め、学修成果が身についたと思いますか。

「大学での学業を興味や意欲をもって進め、学修成果が身についたと思いますか。」という設問に対して、「とてもそう思う」「ややそう思う」という肯定的な回答の割合は全体の 93.5%となっている。

肯定的な回答の割合は全学部・学科において 90%を超えている。

問２．自ら設定した学修目標を達成できたと思いますか。

自ら設定した学修習目標を「達成できた」「ほぼ達成できた」という肯定的回答は全体としては 89.1%となっている。

問３．予習・復習を含めた学習に無理のない形でカリキュラムが組まれていると思いますか。

「予習・復習を含めた学習に無理のない形でカリキュラムが組まれていると思いますか。」という設問に対して「とてもそう思う」「ややそう思う」という肯定的な回答の割合は全体の 82.6%となっている。

本設問に関しては、学部・学科ごとのかなりの差異がみられる。

問４．専門科目の内容は将来のキャリアにつながるものだと思いますか。

「専門科目の内容は将来のキャリアにつながるものだと思いますか。」という設問に対して「とてもそう思う」「ややそう思う」という肯定的な回答の割合は全体としては 92.6%となっている。

問５．学業を進めるうえで困ったときは十分なサポートがありましたか。

「学業を進めるうえで困ったときは十分なサポートがありましたか。」という設問に対して「とてもそう思う」「ややそう思う」という肯定的な回答の割合は全体としては 81.0%となっている。

問６．学習環境（大学の施設・設備など）には満足していますか。

「学習環境（大学の施設・設備など）には満足していますか。」という設問に対して「とてもそう思う」「ややそう思う」という肯定的な回答の割合は全体としては 83.2%となっている。学部・学科ごとに大きな差異はみられない。

問７．教育の仕組みや施設・教育機材、事務室の対応等に関する満足度

① 学習をサポートしてくれる仕組み

利用者に占める肯定的意見の割合（「満足」＋「どちらかといえば満足」）は全体で 97.4%であり 2021 年度から継続して 97%以上の高い割合となっている。

② 本学のカリキュラム構成

カリキュラム構成についての満足度調査である。利用者に占める肯定的意見の割合（「満足」＋「どちらかといえば満足」）は全体で 94.0%であり、2018 年度以降継続して 90%以上の満足度となっている。

③ 時間割の科目配置の仕方

利用者に占める肯定的意見の割合（「満足」＋「どちらかといえば満足」）は全体で 82.6%。学部・学科により若干の差異もみられる。

④講義概要（シラバス）のわかりやすさ

利用者に占める肯定的意見の割合（「満足」＋「どちらかといえば満足」）は全体で 89.6%なっており、これまでの調査の中で最も数値となった前年度（89.7%）と概ね同率である。

⑤単位互換制度

「単位互換制度」の利用者に占める肯定的意見の割合（「満足」＋「どちらかといえば満足」）は全体で 97.7%となっている。

「利用したことがない」割合が全体の 59.8%を占めている。

⑥留学制度

「留学制度」の利用者に占める肯定的意見の割合（「満足」＋「どちらかといえば満足」）は全体で 96.2%となっている。

「利用したことがない」割合が全体の 80.4%を占めている。

⑦学内情報システムの整備・サービス

「学内情報システムの整備・サービス」に関して、全体の利用者に占める肯定的意見の割合（「満足」＋「どちらかといえば満足」）は全体で 90.8%となっている。

⑧個人やグループで利用できる自習環境の整備・サービス

「個人やグループで利用できる自習環境の整備・サービス」に関して、全体の利用者に占める肯定的意見（「満足」＋「どちらかといえば満足」）の割合は全体で 95.6%となっている。

⑨PC、プロジェクター、専門機材等の教育機材の充実度

利用者に占める肯定的意見の割合（「満足」＋「どちらかといえば満足」）は全体で 92.3%となっている。

⑩学生の経済的支援制度（奨学金、授業料免除）の充実度

「利用したことがない」学生が全体の 35.5%を占めるが、利用者の肯定的意見（「満足」＋「どちらかといえば満足」）の割合は 93.8%となっている。

⑪学生ホールやラウンジ等のくつろぎ空間、活動の場の充実度

利用者に占める肯定的意見の割合（「満足」＋「どちらかといえば満足」）は全体で 92.4%となっており、これまでの調査で最も高くなっている。

⑫課外活動施設の充実度

「利用したことがない」学生の割合は全体の 33.5%。利用者の肯定的意見（「満足」＋「どちらかといえば満足」）の割合は 92.1%となっている。

キャンパスが異なる宮古短期大学部の満足度は 88.7%となっている。

⑬～⑯事務室の対応

滝沢キャンパス、宮古キャンパスの各事務室等の対応について、利用者の肯定的意見の割合（「満足」＋「どちらかといえば満足」）の結果である。

滝沢キャンパス全体としてみれば全ての項目において満足度は 96%以上となっている。

また、宮古キャンパスにおける「事務室の対応」についての満足度は本年度調査では 100%となっている。

問８．普段の週当たりの自習の時間

週当たり4時間以上自習した学生は全体で 36.8%、3 時間以上は 49.8%となっている。

全体として選択割合が最も高いのは「2～3 時間未満」18.5%、次いで「1～2 時間未満」15.6%となっている。学部・学科ごとに大きな差異がみられる。

問９．外国語習得のための取り組み

外国語を習得するため、正課の授業以外で何らかの取り組みをした学生の割合は、全体の 23.7%。取り組みの内容としては、「検定試験（英検など）に挑戦した」15.8%、「通信教育や教材で自学した」9.4%等となっている。

問１０．海外留学の経験と期間

全体としては「留学経験はない」という割合が 89.3%。

問１１．海外留学の意向と期間

「留学意向はない」という割合が 83.7%となっている。

「留学意向のある」回答者が選択した期間については、全体としては「2 週間未満」4.0%、「2 週間から 4 週間未満」3.4%、「4 週間～3か月未満」2.5%となっている。

また、1年以上の希望者は全体の 2.7%である。

問１２．「多文化共生」に対する理解度

「本学での授業や学生生活を通して、多文化共生に対する理解が深まったと思いますか。」という設問に対して、「かなり深まったと思う」「ある程度深まったと思う」を合わせた回答割合は全体として 53.1%となっている。

問１３．【宮古短期大学部以外の】キャリア教育に該当する授業の履修率

宮古短期大学部以外で、キャリア形成に関わる正課の授業を履修した割合は、全体の 48.0%。学部ごとの差異が大きくみられる。

問１３-２．キャリア教育に該当する授業を「履修しなかった」理由

キャリア形成に関わる正課の授業を履修しなかった理由としては、高い順に「内容に関心が無かった」35.7%、「知らなかった」31.9%、「自分の進路に関係の無い内容だった」16.8%、「時間が合わなかった」14.1%となっている。

問１４．学外の実務経験者による授業の履修率

民間会社社長など、学外の実務経験者による授業を履修した割合は全体の 27.9%。

学部・学科による大きな差異がみられる。

問１４-２．学外の実務経験者による授業の満足度

学外の実務経験者による授業を履修した学生のうち、「とても有意義であった」「有意義であった」と考える割合は全体の 97.4%。

問１４-３．学外の実務経験者による授業を履修しなかった理由

実務経験者による授業を履修しなかった理由について最も多いのは「知らなかった」50.0%、次いで「内容に興味が無かった」21.5%、「自分の進路に関係の無い内容だった」15.1%、「時間が合わなかった」12.4%となっている。

問１５．インターンシップ等の就業体験割合

インターンシップ等の就業体験（単位認定の有無は問わない。資格要件の実習は除く。）を体験した学生の割合は全体の 46.6%。

問１５-２．インターンシップ等の就業体験の有意義度

インターンシップ等の就業体験をした学生のうち、「とても有意義であった」「有意義であった」と考える割合は全体の 93.4%。

問１５-３．インターンシップ等の就業体験をしなかった理由

インターンシップ等の就業体験をしなかった理由について最も多いのは「時間が合わなかった」38.2%、次いで「自分の進路に関係の無い内容だった」25.6%、「内容に興味が無かった」23.2%となっている。

問１６．授業や研究補助等での地域企業や団体との連携

在学中に地域企業や団体と連携した経験があるのは全体の 36.3%である。

学部・学科別に大きな差異があるが、経験した割合が 50%を超えるのは総合政策学部 77.5%、次いでソフトウェア情報学部 51.6%となっている。

問１７．学業以外の大学生活に対して十分なサポートがあると思いますか。

「学業以外の大学生活に対して十分なサポートがあると思いますか。」という設問に対して「とてもそう思う」「ややそう思う」という肯定的な回答の割合は全体の 76.4%。

問１８．将来のキャリア形成に向けたサポートや機会の提供は十分であると思いますか。

「将来のキャリア形成に向けたサポートや機会の提供は十分であると思いますか。」という設問に対して「とてもそう思う」「ややそう思う」という肯定的な回答の割合は全体の 86.2%。

問１９．修学のための金銭的支援に関する情報提供は十分であると思いますか。

「修学のための金銭的支援に関する情報提供は十分であると思いますか。」という設問に対して「とてもそう思う」「ややそう思う」という肯定的な回答の割合は全体の 67.2%。

問２０．学内サークル活動の参加状況

学内のサークル活動に参加していた割合（100-「参加していなかった」-「無回答」）は全体の 57.2%。

問２１．地域活動への参加状況

地域活動等への参加の有無についての質問では、ボランティア活動に参加したことのある学生が全体の 22.8%、学外のクラブ・サークル活動 9.8%、町内会などの活動 4.9%、国際交流活動 3.1%となった。これらの活動に参加しなかった割合は 61.2%である。

問２２．犯罪や民事上の被害・トラブル経験

入学後の学生生活において、何らかの犯罪や民事上の被害・トラブルを経験したことのある学生の割合は全体の 9.8%（100-「被害にあったことがない」）。

問２３．悩みや不安の相談相手

悩みや不安があるとき、誰に相談しましたかという設問に対して、全体として最も多いのが「先輩・友人」79.5%、次いで「家族」70.7%、「教員」21.4%となっている。

問２４．収入状況

1ヶ月の平均収入額は全体として総額 93,642 円であった。

学部・学科別の差異は、自宅通学者と自宅生以外の構成により生じていることも推察される。

問25. アルバイトの実施状況

在学中、定期、不定期を問わず何らかの形態でアルバイトを行っていた学生は全体の84.6%(100-「しなかった」-「無回答」)、「週に1～2 日以上した」学生は全体の 76.1%である。

問26. 学生生活の充実度

在学中の学生生活全般の充実度は全体の 95.1%が肯定的回答(「とても充実していた」「やや充実していた」の合計)となっている。

これまでの調査において、在学中の学生生活全般の充実度は概ね 90%～96%の範囲となっている。

問27. 図書館利用頻度

全体として図書館の利用頻度は割合の高い順に「月に1～2日」20.1%、「年に数回」17.8%、「週に1～2日」17.4%、「ほとんど利用しない」16.8%、「試験期間だけ利用」15.2%が10%以上となっている。

全体として「月に1～2日以上利用」する学生は 44.9%である。

問27-2. 図書館利用目的

図書館の利用目的で上位 3 項目は選択割合が多い順に「学習場所として(自学自習)」88.4%、「図書閲覧・貸出」51.4%、「図書・雑誌を利用した調べもの」28.6%となっている。(複数回答)。

問28. 図書館利用満足度

図書館の利用満足度(利用したことがある者の肯定的意見:「満足」+「どちらかといえば満足」)は全体的に高く、本年度調査においては滝沢キャンパス、宮古キャンパスともにすべての項目において肯定的意見が概ね 94%以上となっている。

問29. 健康サポートセンター、学生サポートサロン等の利用満足度

健康サポートセンター、学生サポートサロン(滝沢キャンパス)、保健室、学生相談室(宮古キャンパス)について利用したことがない学生も多いが、利用満足度(利用したことがある者の肯定的意見:「満足」+「どちらかといえば満足」)は非常に高く、今回調査においても、全ての項目でほぼ 100%に近い値、または 100%の肯定割合となっている。

問30. 卒業後の居住予定地

全体の 48.0%が卒業後の居住予定地が岩手県となっている。学部・学科ごとの差異もみられる。ソフトウェア情報学部の卒業後の居住予定地が東京(28.2%)であるのが突出している。尚、居住予定地が東北 6 県であるのは全体の 63.6%となっている。

問31. 卒業後の進路

卒業後の進路については、全体としてみれば「就職(公務員以外)」が 63.8%、「就職(公務員)」15.2%、「〔学部卒業生〕大学院への進学(本学)」4.2%(23 名)、「〔学部卒業生〕大学院への進学(本学以外の国内)」0.7%(4 名)等となっている。

問32. 卒業後、進学をするうえで重視した要因等

回答者 71 名が進学するうえで重視した項目について、優先三順位までに選ばれた項目の中で、最も多かったのは「教育環境(施設含む)」54.9%、次いで「授業科目」50.7%、「授業料」31.0%、「教員陣」28.2%、「地理的条件」28.2%、「取得できる資格」26.8%と続いている。

問33. 進学先への満足度

進学または海外留学先についての満足度に関する設問である。

全体としては回答者 71 名のうち 71.8%(51 名)が「第一希望である」と回答している。

また、「第一希望に近い」を含めると 91.5%(65 人)となる。

一方、「まだ進学先が決まっていない」学生も 2.8%(2 名)いる。

問34. 就職先地域に関する満足度

就職を希望した学生の就職先勤務地に関する設問である。

全体として「当初は岩手県内に就職希望だった→岩手県内に就職する」学生は全体の40.8%、「当初は岩手県内に就職希望だった→岩手県外に就職する」学生は 7.8%となっている。

問34-2. 就職先の所在する地域が当初の希望と変更となった理由

「就職先の所在する地域が当初の希望と変更となった理由」についての回答者は 66 名である。

複数回答により全体として選択割合が概ね 15%を超えるのは高い順に「労働日数・時間等の条件が良いから」28.8%、次いで「賃金が高いから」19.7%、「就職する地域に魅力を感じたから」16.7%となっている。

問35. 就職する地域を意識し始めた時期及び就職する地域が明確になった時期

四年制大学の学生が就職する地域について意識し始めた時期は大学 3 年生の時が最も高く 34.9%～47.4%なっている。

就職する地域が明確になった時期について、四年制大学生でみるとソフトウェア情報学部を除く 3 学部 4 学科において大学 4 年生の時に明確になった割合が最も高く 42.0%～72.1%なっている。

問36. 就職する地域を選択した理由

就職する地域を選択した理由について、重視した順に3つ選択する設問である。

全体として 30%以上の項目は、「私生活が充実しそうだから、暮らしやすいから」が最も高く 63.9%、次いで「働きたい企業がある地域だから」47.7%、「自分の夢の実現や挑戦が出来るから」42.2%、「自分の出身地だから」37.6%となっている。

問37. 就職先選択の重点項目

就職先を選択する場合に重視する項目で全体として選択割合が 50%を超えるのは、高い順に「仕事内容(やりがい)」66.6%、「賃金・賞与」65.1%、「労働日数・時間」54.0%である。

問38. 就職先への満足度

就職先について、「第1希望である」「第1希望に近い」と回答した割合は全体の 84.5%となっている。

問38-2. 就職先と合同企業等説明会との関連性

就職先と合同企業等説明会との関連性についての設問である。

就職先が「(合同企業等説明会で)話を聞いた企業等」であると回答したのは、全体では 15.1%となっている。

問39. 岩手県出身者のUターン希望

岩手県出身者で岩手県以外の都道府県に就職等を予定している者のうち、「何らかの時期で(岩手県内へ)Uターンを考えている」と回答した割合(100－「Uターンは考えていない」－「わからない」)は全体としては 45.9%となっている。

問40. 就職支援サービスの満足度

大学の就職支援サービスを利用したことがある学生の満足度は、項目ごとに若干の差異があるが、滝沢キャンパスにおいては全体としてみれば、全ての項目について「利用したことがある者」の肯定的意見(「満足」+「どちらかといえば満足」)の割合は概ね 95%以上となっている。

また、宮古キャンパスにおいては「利用したことがある者」の肯定的意見(「満足」+「どちらかといえば満足」)の割合は全ての項目において 96%以上となっている。

問41. 大学はアンケートを実施し、そのフィードバックを行うなど、学生の声を聞いて教育を良くしていこうとしていると思いますか。

「大学はアンケートを実施し、そのフィードバックを行うなど、学生の声を聞いて教育を良くしていこうとしていると思いますか。」という設問に対して「とてもそう思う」「ややそう思う」という肯定的な回答の割合は全体の 73.4%となっている。

問42. 大学は安全で充実したキャンパス生活、学生生活が送れるよう、取り組んでくれていると思いますか。

「大学は安全で充実したキャンパス生活、学生生活が送れるよう、取り組んでくれていると思いますか。」という設問に対して「とてもそう思う」「ややそう思う」という肯定的な回答の割合は全体の 84.4%となっている。

問43. 本学と本学の学生に関するイメージ

卒業年次生が感じる本学のイメージについて、全体として選択割合が30%以上の項目は高い順に「学部・学科が充実している」39.7%、次いで「就職状況が良い」36.2%、「教育機関としてのビジョンがある」33.9%、「地域社会・文化に貢献している」33.2%、「地域産業に貢献している」30.8%となっている。

卒業年次生が感じる学生のイメージについて、全体として選択割合が 20%を超える項目は、高い順に「個性的である」37.3%、次いで「礼儀正しい」28.4%、「勉強・研究に熱心である」24.1%、「コミュニケーション能力が高い」20.1%となっている。

岩手県立大学 2024(R6)年度卒業年次生アンケート
集計結果報告書(抜粋)

〔担当・問合せ先〕
岩手県立大学事務局企画・広報室 企画・広報グループ
〒020-0693 岩手県滝沢市巣子 152-52
TEL:019-694-2005 FAX:019-694-2001 E-MAIL:management@ml.iwate-pu.ac.jp